



PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年3月31日

常石造船株式会社

常石造船、世界初の LNG 二元燃料 KAMSARMAX を竣工 — LNG 燃料タンクを自社製造、将来の新燃料対応技術を蓄積 —

常石造船株式会社（本社：広島県福山市、代表者：代表取締役社長執行役員 奥村幸生）は、2026年3月31日、常石工場において世界初となる LNG 二元燃料ばら積み貨物船 KAMSARMAX を竣工しました。



竣工した LNG 二元燃料ばら積み貨物船 KAMSARMAX

本船は LNG を主燃料として使用可能な二元燃料機関を採用しており、従来の重油燃料と比較して CO₂排出量の削減が期待できるほか、硫黄酸化物（SO_x）や窒素酸化物（NO_x）の低減にも寄与します。さらに、船体性能の最適化や軸発電機などの省エネルギー設備を組み合わせることで、国際海事機関（IMO）が定めるエネルギー効率設計指標（EEDI）において 2025 年から適用されている Phase3 規制（30%削減）を大きく上回る基準値比 50%以上の削減を実現しました。



また、本船の大きな特徴の一つが、船尾甲板上に搭載した LNG 燃料タンクであり、独立型圧力タンク（タイプ C）方式を採用しました。極低温環境に対応する特殊鋼材の加工や高精度な溶接、防熱など高度な製造技術を要するタンクを、常石造船の工場で製造しています。



常石造船の工場で製造した LNG 燃料タンク

常石造船は本船建造に先立ち、将来の二元燃料船に対応した燃料タンクの内製化を見据え、LPG 運搬船の圧力式タンク製造から取り組みを開始しました。場内設備を活用しながら、タンク端部の鏡板成形などの課題を克服し、製造技術を蓄積してきました。この取り組みにより培われたタンク製造技術が、今回の LNG 燃料タンクの製造にも活かされています。

今回の LNG 燃料タンク製造で培った低温・圧力対応技術は、ゼロエミッション燃料であるアンモニア燃料タンク製造に共通するものです。こうした技術は、多燃料時代に備える基盤技術となります。





竣工した LNG 二元燃料ばら積み貨物船 KAMSARMAX

常石造船 代表取締役社長執行役員 奥村幸生 コメント

「LPG タンクの内製化で培った圧力容器製造技術や品質管理の知見は、今回の LNG 燃料タンク製造にも活かされています。LNG は極低温環境への対応が必要であり、材料選定や加工、溶接、防熱など、より高度な技術が求められます。こうした低温・圧力対応技術を社内に蓄積していくことは、今後需要の拡大が見込まれるアンモニアなど、新たな燃料への対応、さらにはゼロエミッション船の実現に向けた重要な基盤になると考えています。」

■常石造船株式会社

常石造船（本社：広島県福山市沼隈町常石 1083 番地）は、造船・海運業を中心に事業展開する常石グループの中核会社で、船舶の建造と修繕を営んでいます。国内の常石工場（本社）とフィリピン、中国の海外工場を拠点に、ばら積み貨物船、コンテナ運搬船、タンカーなどを建造しています。

企業サイト：<https://www.tsuneishi.co.jp/>

代表者：代表取締役社長執行役員 奥村幸生

事業内容：船舶の建造、修繕

創業：1917 年（大正 6 年）7 月

資本金：1 億円

従業員：847 人（2026 年 1 月 1 日時点）

造船事業関連会社：



TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc. (フィリピン・セブ)

<http://www.thici.com/>

常石集団（舟山）造船有限公司（中国・浙江省）

<https://www.tsuneishi.co.jp/tzs/chinese/>

常石鉄工株式会社（広島県福山市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/iron-w/>

常石エンジニアリング株式会社（広島県福山市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/engr/>

常石三保造船株式会社（静岡県静岡市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/miho/>

常石呉ドック株式会社（広島県呉市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/kure/>

常石ソリューションズ東京ベイ株式会社（東京都港区）

<https://www.tsuneishi.co.jp/tokyobay/>

常石由良ドック株式会社（和歌山県日高郡）

<https://www.tsuneishi.co.jp/yura/>

常石造船昭島研究所株式会社（東京都昭島市）

<https://www.tsuneishi.co.jp/akishima/>

－ 本件に関するお問い合わせ先 －

常石グループ株式会社

コーポレートコミュニケーション部

メール： pr@tsuneishi.com

TEL： 084-987-4915

